



二輪草だより

平成23年12月号
発行:二輪草センター

センターの活動予定

- ◆1月4日(水)～6日(金) 冬休みキッズスクール開催
- ◆1月10日(火)～2月17日(金) 「潜在看護師のための復職支援研修」申込受付
- ◆1月末日 二輪草プラン推進委員会議・二輪草だより1月号発行

年末年始のお休み期間は12月29日～1月3日です

『第8回医学部学生と女性医師の語るタベ』終了報告

平成23年11月16日(水)午後6時より旭川医大機器センター3階 カンファレンスルームにて「第8回医学部学生と女性医師の語るタベ」が開催されました。過去最高の総勢53名の方が参加され(うち2名は男子学生)、二輪草センターは共催としてお手伝いさせて頂きました。

今回は『思い描いたキャリアを積もう!』をテーマに、第1部は秋田大学医学部 総合地域医療推進学講座 助教 蓮沼 直子先生をお招きし『明るい未来を見つけよう～秋田大学における医学生キャリア形成支援の取組～』について、ご講演いただきました。



蓮沼 直子先生

皮膚科専門医として働きながら、学生教育、女性医師支援、地域医療連携をされている蓮沼先生は、学生に「夢と希望にあふれ、意欲を持って社会に羽ばたいてほしい」との思いで講義をなされ、学生生活の中でしておくべきことは“その1” そうぞうりよく(想像力、創造力)を鍛える“その2” 行動力をつけることが大切であるとおっしゃっていました。

ご自身の経験をもとに、完全に離職してしまうと、医学の進歩についていくのが大変になり、技術より精神的な面での復帰が難しくなるので、臨床や勉強をする機会を残しておく事が何より大事なことで、今は復職支援より継続支援が必要で、いかに仕事を続けていくかを支援することが重要だと感じているそうです。

キャリア形成のためには、好きなこと、楽しい事をする。自分に向いている得意なことを仕事にする。そのためには自分をよく知ることが必要であり、短所を直すよりも長所を伸ばす方が全体の能力として上がるとおっしゃっていました。

『できる』の反対は『できない』ではなく『しない』だそうで、学生時代は価値観を育てる大事な時期で、また強い心を育てる時期でもあるので、どんな医師になりたいのか? どういう人生を送りたいのか? を考え、いろんなことにチャレンジしてくださいと学生に呼びかけられました。

第2部では働く意味を考える・内的キャリアを考えるワークを行い、その後 学生と医師が6つのグループに分かれ、キャリアアンカーワークについてグループディスカッションを行いました。PBL問題6つの中から、それぞれグループで2つ選び、それらについてディスカッションし、最後に学生が話し合いの結果を発表。あっという間に時間が過ぎ予定より一時間延長して終了しました。



医師会の皆様におかれましては
お忙しい中、旭川医科大学医学部
学生のために、毎年このような会を
ご開催いただきますことに、心より
感謝申し上げます。

『看護学生と看護師の語るタベ』終了報告

今年度初めての試みとして「看護学生と看護師の語るタベ」を開催しました。キャリアアップや育児との両立など自分自身のワーク・ライフ・バランスを考えることを目的に、3名の看護師に体験談を話していただき、その後意見交換を行いました。今回は看護学生6名を含む26名の参加がありました。

体験談では、最初に外来看護師の松田ともさんから、産休前の病棟では、周囲の協力があり元気に勤務することができたこと、復職後も職場の理解と協力や実母のサポートがあり子どもの成長を感じながら日々充実して働くことができていると話されました。また、研修等に参加できるように託児のサポートがあるとよいとの要望がありました。

次に、9東病棟看護師の渡邊充広さんには、2児の父であり働きながら大学院に進学した時の体験談を話していただきました。臨床現場で教育・指導的役割を担うようになりキャリアアップの必要性を感じたことが進学のきっかけと話され、大学院での学びが臨床での自身の役割に生かしていると話されました。

最後に、7西病棟看護師の稲場幸子さんは、2児の母として1人目の時と2人目の時では仕事と育児の両立についての考え方が変化したことが話されました。時には仕事も育児も中途半端ではないかと悩むこともあったが、家族の応援の言葉に支えられたこと、そして子育ての経験が看護の仕事に生きており看護師として成長できていると話されました。

3人のお話は素直な気持ちが表現され、参加者にとっても身近に考えることができる貴重な内容でした。

体験談後に短い時間でしたが意見交換を行いました。看護学生のみなさんは非常に熱心に参加され「家族の協力を得るためには」「仕事と結婚・出産のタイミングは」などの質問があり、ワーク・ライフ・バランスについて関心が高いことを改めて感じました。

参加者からは、体験談を聞くことで自分自身の将来をイメージする良い機会になったとの感想が聞かれ有意義な時間となりました。今後も継続していきたいと考えています。

(看護部総務担当副看護部長 稲葉久子)



病児一時預かり室・バックアップナース・病後児保育室・カウンセリング相談

【11月20日～12月19日までの利用状況】

病児一時預かり室	依頼回数 0回	利用回数 0回
バックアップナース	依頼回数 7回	稼働回数 7回
病後児保育室	依頼回数 12回	利用回数 9回
カウンセリング相談		利用回数 4回

* 病児一時預り室・病後児保育室は全職員・学生がご利用になれます

【お問い合わせ先】

旭川医科大学 二輪草センター(復職・子育て・介護支援センター)
〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1
TEL 0166-69-3240(内線3240) サンニヨレ FAX 0166-69-3249
E-mail: nirinsou@asahikawa-med.ac.jp 開設時間8時30分～17時15分

